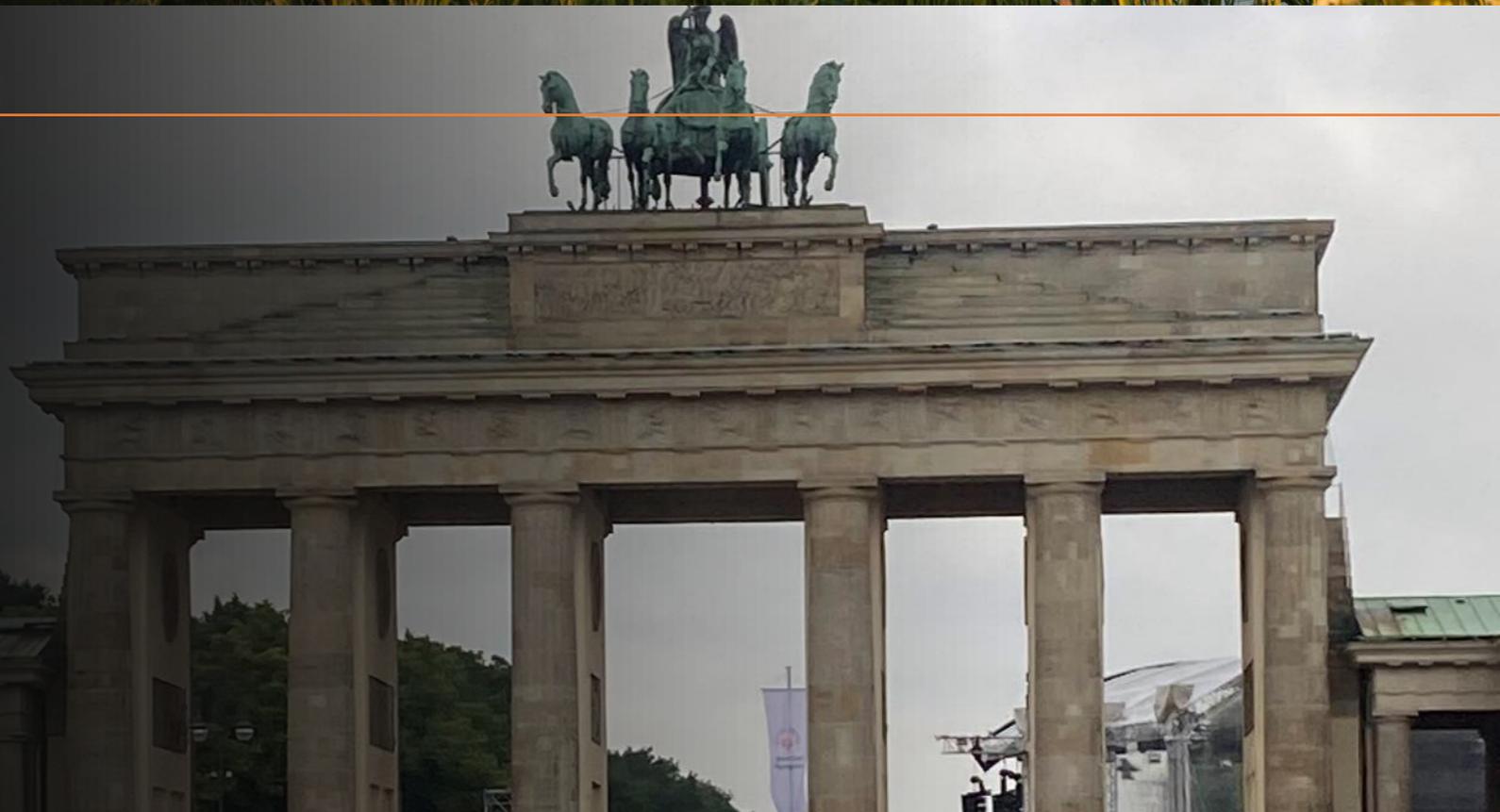


# 2023年6月 アムステルダム・ ベルリン出張報告



# アムステルダム・ベルリン出張概要

## ■ 日程

令和5年6月14日（水）（※15日深夜発）～6月18日（日）

## ■ 目的地

アムステルダム（オランダ）

ベルリン（ドイツ）

## ■ 人数

宮坂副知事、政策企画局職員、スタートアップ・国際金融都市戦略室職員 計4名

## ■ 目的

- ・ SusHi Tech Tokyo2024の開催に向けて、グローバルなSUイベントに関する知見を得るため。
- ・ Tokyo Innovation Base（仮称）創設に向け知見を得るとともに、海外SU施設や都市との連携に向けた意見交換を行う
- ・ その他、SU戦略をはじめとする都施策のPRを行う

## ■ 訪問先

アムステルダム：TNWカンファレンス、

スタートアップゲノム エコシステムリーダーシップ フォーラム、The B

ベルリン：Factory Berlin、ベルリン市副市長面会

# アムステルダム



- **地理**

オランダの首都であり、西部に位置している  
平坦な地形で、多くの運河が市内を貫いている

- **総人口**

87万人（2021年）

- **歴史**

13世紀にダムが築かれたことが起源。商業活動の中心地として急速に成長し、都市化が  
17世紀には東インド会社や西インド会社の拠点として栄えた



外務省ホームページより

# スタートアップエコシステムの特徴

- ゲノム社のスタートアップエコシステムランキングで**14位**（2023年）
- オランダのスタートアップの**半数弱がアムステルダムに集中**
- 母国語以外の国の英語力を図るEF 英語習熟度インデックス (EF EPI) でオランダは**1位**（日本は80位）、**国民の9割が英語を話せる**
- **欧州の主要都市からアムステルダムへ空路で2時間以内**と立地に恵まれ、欧州の物流ハブとして発展
- **所得税を引き下げて高度人材を誘致し、7大学が世界トップ100にランクイン**（日本は2大学のみ）。学生の4割が留学生
- 産官学の連携が強く、**大学や研究機関を通じてスタートアップを支援**。また、教育機関も起業家教育に積極的
- **量子コンピュータ、フードテック、アグリテックが発達している**
- 2050年の気候ニュートラルの実現のため**水素戦略**に取り組む



## 出典

- EF EPI 2022 – EF 英語能力指数 <https://www.efjapan.co.jp/eipi/>
- The Global Startup Ecosystem Report (GSER) 2023 <https://startupgenome.com/report/gser2023>
- 小さな大国オランダの秘密 日本の未来に繋がる重要拠点（ジェトロ・アムステルダム事務所）

# The Next Webカンファレンス

## ■概要

17年続く欧州を代表するテクノロジーカンファレンス。今後10年間のテクノロジーのトレンドを予測し、新たなアプリケーションについて議論する場となっている。1万人以上、1500社を超えるスタートアップが参加し、AIからブロックチェーンまで、様々なテクノロジーについてエキスパートが議論する。

■開催日程 6月15日（木）、16日（金）

## ■当日のスケジュール

### 6月15日（木）

13:25～13:40 The Assemblyクロージング登壇

15:00～15:40 Genomeランキング発表セッション

(Empowering Tomorrow: Unveiling Startup Genome's 2023 Global Startup Ecosystem Report)

※引き続き同会場内

16:00～18:30 スタートアップゲノム エコシステムリーダーシップ フォーラム参加





- 野外も組み合わせた、開放的な会場
- 遊びの要素を取り入れ、リラックスしたフェス的な雰囲気

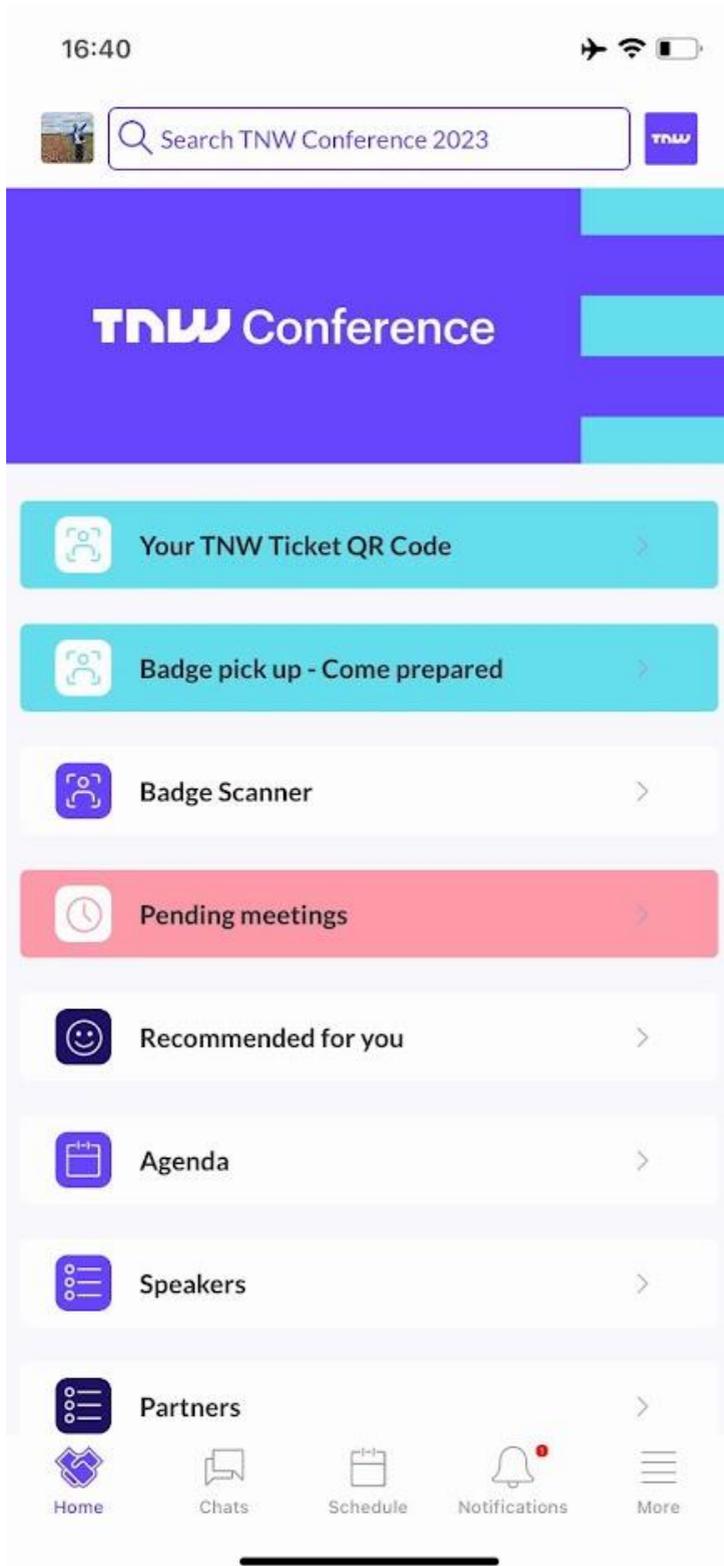




- 皿やコップのリサイクルを徹底
- ごみの分別が徹底されておりサステナビリティを前面に押し出している



- 運河が発達している都市の特性を活かしてアムステルダム中央駅から会場まで無料のフェリーを運航



- 会場を訪れている人とのミーティングをマッチングからアレンジ、場所の確保までワンストップでアプリで完結



- 各都市のエコシステムのキーパーソンが集まる場で、Tokyo Innovation Base、SusHi Tech Tokyo2024をはじめとする都のスタートアップ施策を発信するとともに、都市間での連携を呼びかけ

**Global Startup Ecosystem with Inter-city Collaboration**

Manabu Miyasaka  
Vice Governor of Tokyo

Tokyo's Innovation Vision for the Next Five Years

Global Unicorns x10

Number of Startups x10

Public-Private Collaboration Practices x10

STARTUP EVENT 2024 May

**SusHi Tech TOKYO**  
Sustainable High City Tech Tokyo

Largest startup event in Asia: 40,000 participants

Together with concurrent events: 500,000 attendees

Registration starts this summer

Call for booth exhibitors from countries and cities!

LinkedIn Website YouTube

"Tokyo Innovation Base"

Strengthening the network between ecosystems by collaborating with bases in cities around the world

Soft-launch this fall

Provide training programs

Mutual dispatch of startups

**Tokyo Innovation Base**

Only 5 minutes from Tokyo Station

**Let's work together to boost the startup ecosystems around the world!**



■ ニューヨーク、モントリオール、メルボルン、エスポ(フィンランド)、バルセロナなど各都市のエコシステムプレイヤーと意見交換



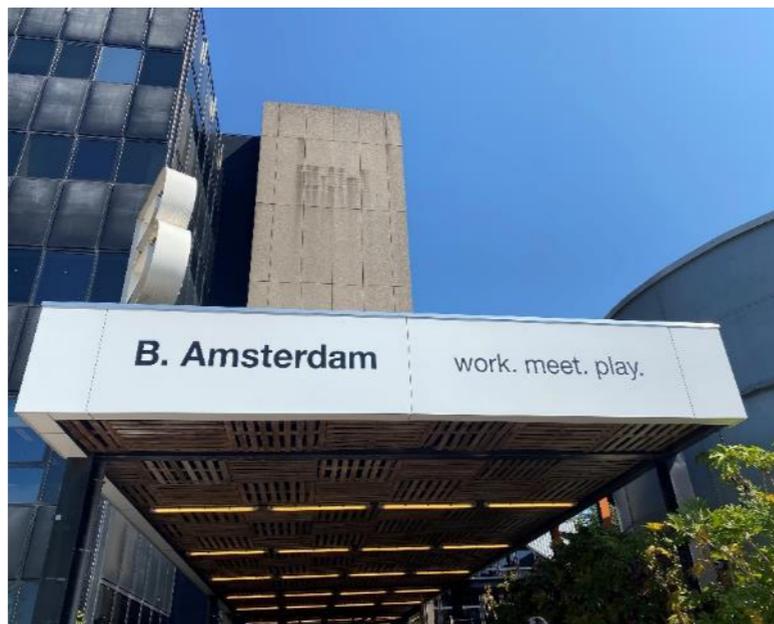
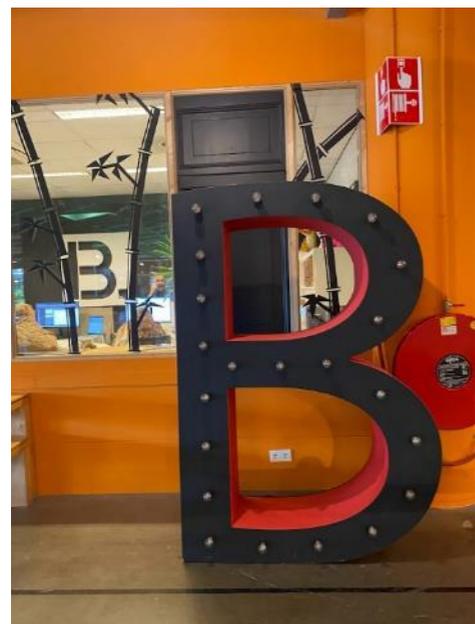
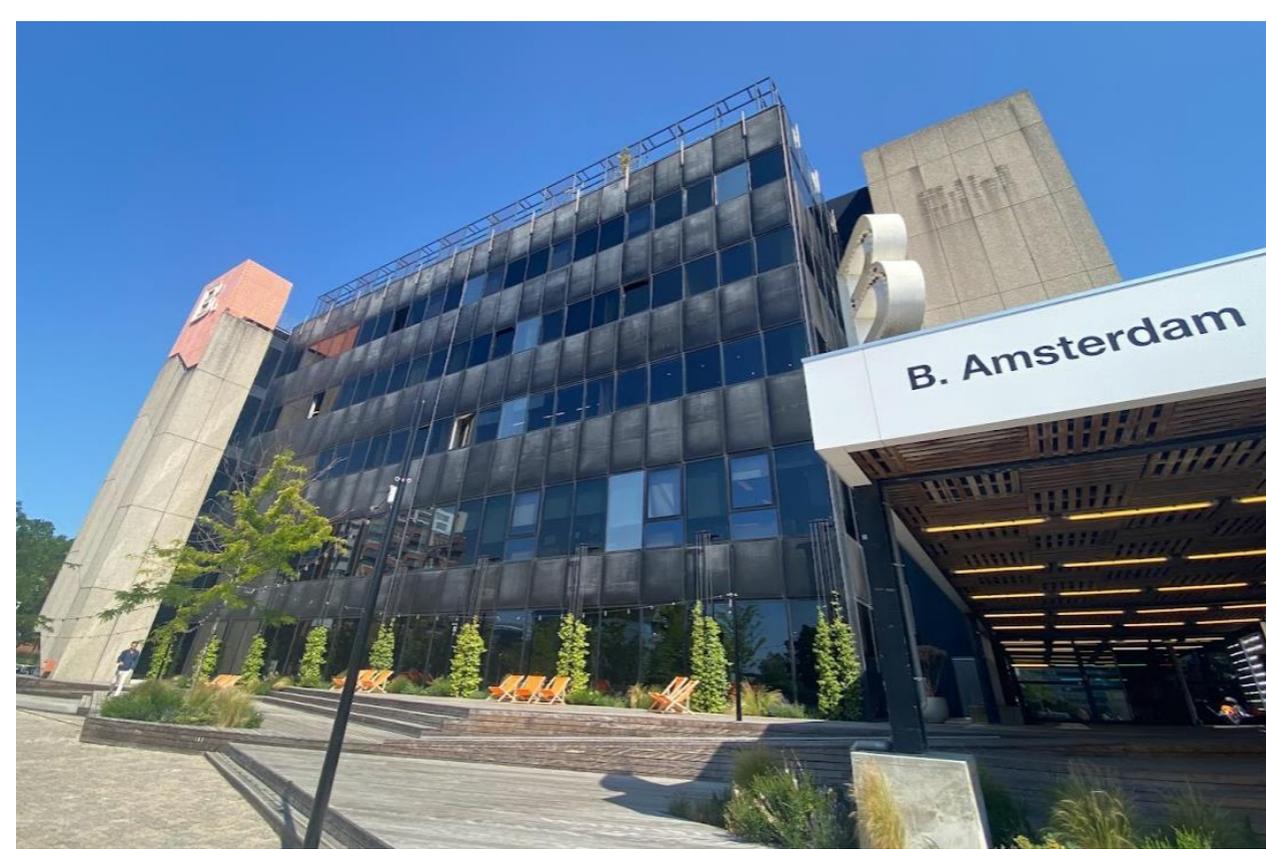
# The B Amsterdam

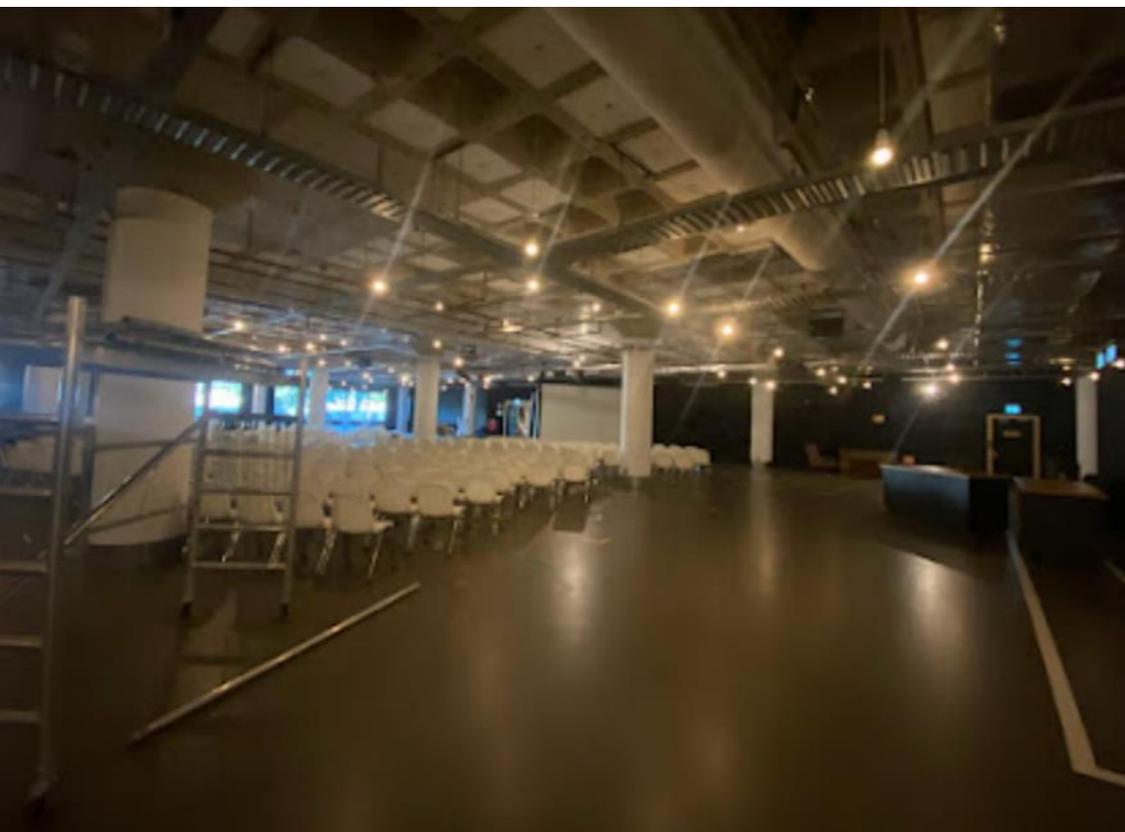
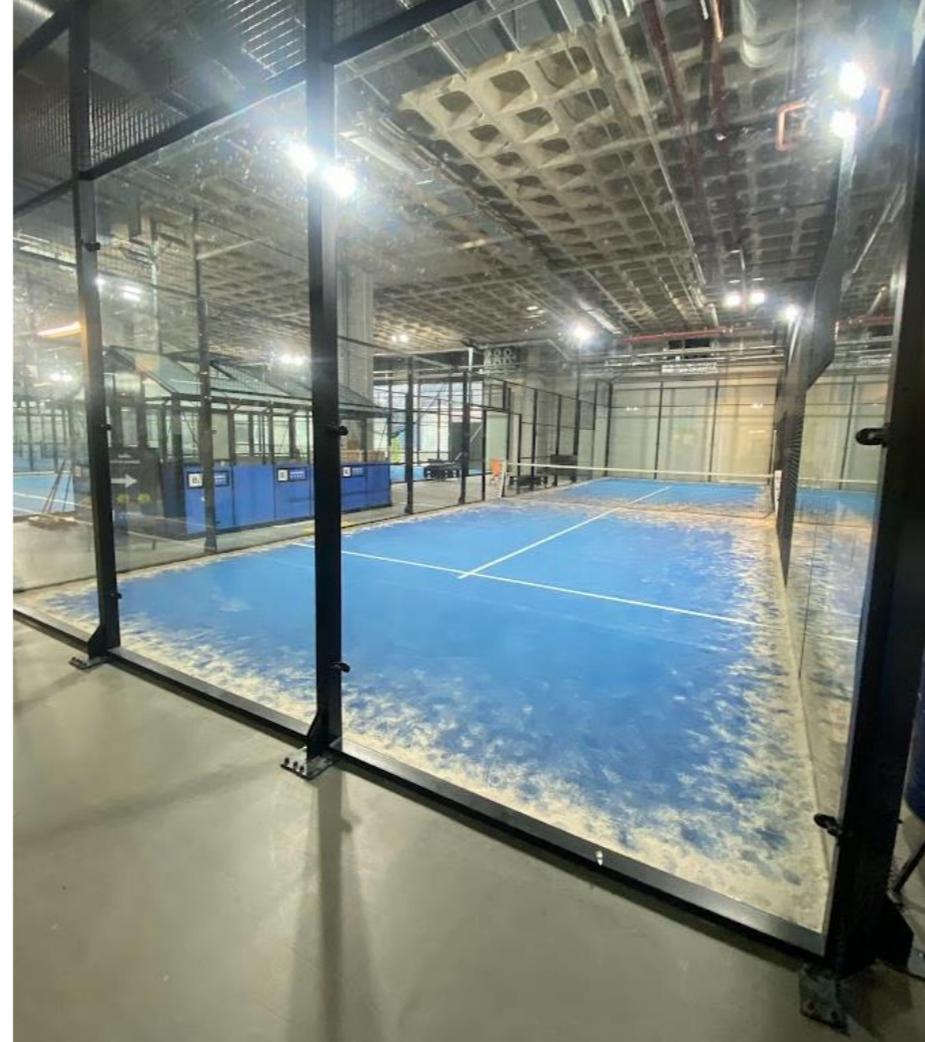
- **施設名** The B Amsterdam
- **運営者** B.Amsterdam (民間)
- **開業年月日** 2014年
- **敷地面積** 64,000m<sup>2</sup>※参考 : Station F 34,000m<sup>2</sup>
- **特色**



- **欧州最大級のコワーキングスペース**でコミュニティ・ネットワーク形成による成長を重視
- **IBMのオフィスをリノベーション**。開設当時は2階のフロアのみだったが、2年半後にはビル全部、**現在では2つのビルまで埋まっている**
- 数人規模の20平米のオフィスから**100人規模の1,400平米のオフィスまで存在**
- **800人が収容できるイベントスペース**では、大小様々なイベントが運営者及び民間事業者によって**年間1,500件以上**実施されている
- 施設内にジムが併設されており、アプリでパートナーを探すことが可能
- 机等の備品にはガラスやリサイクル資材を活用
- 来年空地のスペースに**ホテルを建設予定**

IBMのビルをリノベーションした施設。当時は2階のワンフロアのみでの運営だったという。





- アムステルダムの中核地から離れた場所に立地しているため、施設内にスーパーマーケットやジム、テニスコートなどを設け人が集まりやすい工夫を凝らしている
- イベントスペースは800人収容可。外部への貸し出しもしており、施設の貴重な収入源



入居者がゲストを連れてきた際、フォーマルな商談を実施できるように設置されたレストラン



# ベルリン



# 都市概要

## ■ 地理

ドイツの首都であり、東部に位置する  
平坦な地形で、市内には公園や広場が豊富に存在している

## ■ 総人口

366万人（2020年）

## ■ 歴史

13世紀に都市として成立。第二次世界大戦後、東西に分割されていたが、1989年のベルリンの壁崩壊により統一される。東西冷戦時代の象徴としても知られる

## ■ 政治

ベルリンはドイツの連邦政府の拠点であり、政治的な中心地



外務省ホームページよ

# スタートアップエコシステムの特徴

- 東西冷戦により大企業が西側に移転、産業がない状態だったため**スタートアップを主要産業にする動き**（スタートアップエコシステムランキング13位）
- 物価や労働力が安く、**近年では英語でのビジネスが可能**
- 欧州のスタートアップ創業者を対象にした「**スタートアップを設立したい都市**」に関するアンケートで**2年連続1位**
- 2022年は**50億ユーロの資金調達**があり、ドイツの50%を占める
- スタートアップ戦略「**STARUP AGENDA 2022-2026**」を、商工会議所、SU支援機関、ビジネス団体、アカデミア、金融機関、100社超のSUが共同で策定
- 官民パートナーシップで設立された**ベルリン・パートナー**、**市が100%出資するベルリン投資銀行（IBB）**などが州レベルでの支援策を実施
- イノベーションハブ、スタートアップ奨励金を市が実施し、起業家を支援。**特に女性に手厚く支給**

出典

・ベルリンのスタートアップエコシステム（ジェットロ・ベルリン事務所）

・STARUP AGENDA 2022-2026 <https://www.berlin-partner.de/en/news/detail/startup-agenda-2022-2026>



STARTUP AGENDA  
2022 - 2026



# Factory Berlin

- 施設名 Factory Berlin
- 運営者 Factory (民間)
- 開業年月日 2014年
- 敷地面積 16,000m<sup>2</sup>
- 特色



- 単なるコワーキングスペースでなく「**コミュニティ**」であることを志向し国内外のSUや支援機関を集結させるエコシステムの中心地となっている
- **ミッテ地区の施設から始まり**、2018年にゴーリッツパーク、2年前にはハンブルグで施設を開設した。**今後他の都市への展開も検討**している。
- 都市ごとに状況は異なるが、不動産ではなくコミュニティ、ネットワークを最優先に考える
- 入居SUは150、会員は5,000、グーグルなどと戦略提携をしている
- 多様性を重視しており、**会員は92カ国、4割は女性**
- **ベルリンSUの19%が施設を利用**
- 2018年よりイノベーションにはクリエイティブ人材が重要であると位置づけ、**アーティスト**を呼び込んでいる



# ベルリン副市長との意見交換

## ■ 面会者



### **Franziska Giffey**副市長

経済、エネルギー、公共企業担当副市長

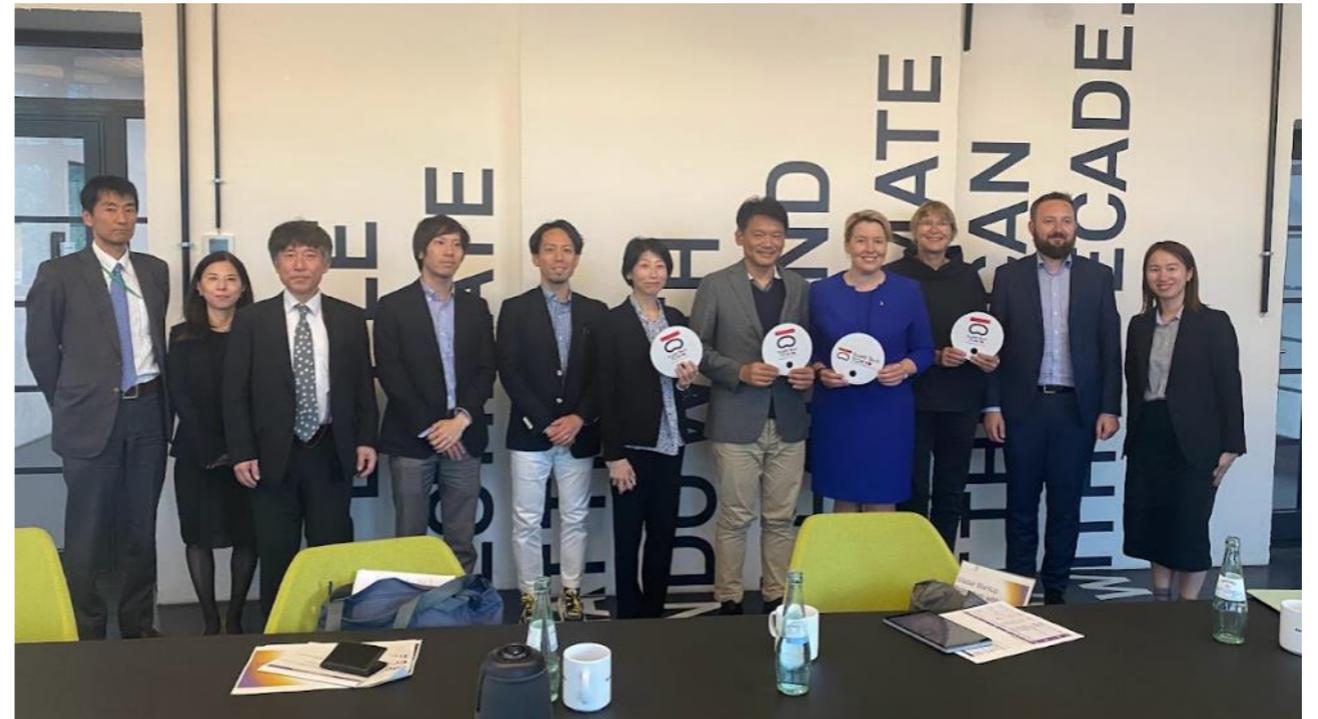
〈経歴〉

2021年12月 ベルリン市長就任

2023年4月27日 経済、エネルギー、公共企業担当就任

## ■ 意見交換内容

- 2024年5月14日姉妹友好都市30周年に向けた検討
- Tokyo Innovation BaseやSusHi Tech Tokyo 2024との連携



## 「Why Tokyo?」

という全く同じ問いを様々なシーンで幾度も受けた。

連携先が、自信をもって、東京を個別のスタートアップ勧められるよう、伝えることが大事

## ローカルの「今」を捉える

アムステルダム、ベルリンとも地域事情に深く根ざしてエコシステムが形成されている  
さらにその形成は最近であり、大きく変化

東京も客観的に自分のエコシステム語り、理解を得ていく必要性

## 何といたってキープレイヤーとつながること

スタートアップエコシステムにおいては、組織であっても属人的に話が進む。  
相手にすでに動機とやる気があるところと、縁を大事に進めるべき  
そこから意外な方向に発展する可能性もある

## Small Stepを

総論ではいつも賛成となるが、そこらいかにか具体的な一歩につなげられるかが分岐点  
どんなに小さいことでもよいので、  
小さな具体的なプロジェクトを実現させることを念頭に置きたい